

杉山代表の



“

言葉の葉〈第1集〉

”

私が2週間に1回訪問診療をしている、元郵便局長(96歳、男性)さんがいます。2022年4月12日に訪問したとき、色紙とサインペンが用意されていて、何か言葉を書いてほしいという依頼がありました。軽い気持ちで書き始めましたら、2024年8月27日までに56回になりました。介護や医療のこと、私の信念、時には詩などを書き続けたところ、ある程度まとまりましたので、「言葉の葉」と名付けました。本欄に、今後数回にわたって紹介したいと思います。

【介護について】

*「介護とは、本人の能力・潜在能力を大切に、足りないところをさりげなく支えることが基本である」 2022.8.30

*「できなくなったこと、足りないところを見るよりも、出来ていること、良いところを見るのが大切です」「よいとこさがしが大切!」 2022.11.22

*「過去にこだわらないで、現在を認めて、前を見よう」 2022.12.6

*「目線の高さ——人と接する時の基本的な心構えの一つです。姿勢の上でも気持ちの上でもできるだけ同じ高さに持っていくことが大切です」 2023.1.31

*「在宅介護はドラマであると、私は常々思っています。介護する者と介護を受ける者、さらにそれを取り巻く様々な登場人物が、縦糸と横糸のごとく織り合わされながら、介護の必要な人の生活を支える中で悲喜こもごもの人間関係が展開されるからです」 2023.8.29

【医療について】

*「医療とは、切実な悩みや要望をもつ人に対する、最も身近で、直接的で、しかも専門的なサービスを提供する職種である」 2023.8.1

*「医療をサービス業と規定すると、サービス業の神髄はサービスを受ける者の立場や都合を第一に考えること!

在宅で家族の方が一生懸命にお世話しているが、その人を病院に連れてくるのが大変であれば、こちらがすぐ訪問すれば、すぐ診療は終わる。訪問診療の目的はそこにあります」 2023.8.15

*「医療者にとって大切なものは、専門的な知識・技術だけでなく、人を心からいとおしく思う人間性である」 2023.1.17

【随筆】

*「薔薇

母が育てた花園に

今でも、見事に咲いています

赤、黄、ピンクの薔薇の花

蜂がお花の蜜を吸い

蟻が枝葉を駆け回る

わらし
童女に戻った母親が

きれいな花を愛でながら

ほのかな香りをかぎながら

ところで、あなた

誰が、この花、育てたの」 2023.9.26

あとがき

編集委員
(山下・小林・石毛・伊藤)

猛暑に台風、豪雨、地震と災害の多い夏でした。9月号で「要支援者の災害時緊急避難」について掲載予定でした。その最中に「南海トラフ巨大地震注意喚起」が出され、皆さまが今何を知り準備したら良いかわかりやすくお伝えするために急速2ページの紙面への掲載としました。皆さまの「災害時の備えの一助」にさせていただきたいと思います。(石毛)